

令和3年12月11日(土)

流山市中央公民館 秋行事史跡ガイドウォーキング 「身近な戦国時代の城跡を探访する」レジメ

午前9時：「流鉄小金城趾駅」(集合) 12時30分：「前ヶ崎城跡」(解散)

●小金城跡歴史公園(金杉口門跡) 1 大手口・2 大谷口・3 横須賀口・4 達磨口・5 金杉口

鎌倉時代、九州千葉氏の祖千葉胤貞の弟高胤が高城氏の祖と伝わる。子の胤雅が肥前国(佐賀県)高城村に居住し高城を苗字にした。正長元年(1428)、下総国臼井に帰国。栗ヶ沢城、根木内城を経、天文6年(1537)、高城下野守胤吉が小金城を完成。戦国時代高城氏3代53年の居城。約800m四方の広大な総構。天正18年(1590)、秀吉の北条攻めで高城氏は千葉氏と共に降伏滅亡した。文禄2年(1593)廃城。国文化財級の遺構は昭和30年代の宅地造成で大方消滅した。

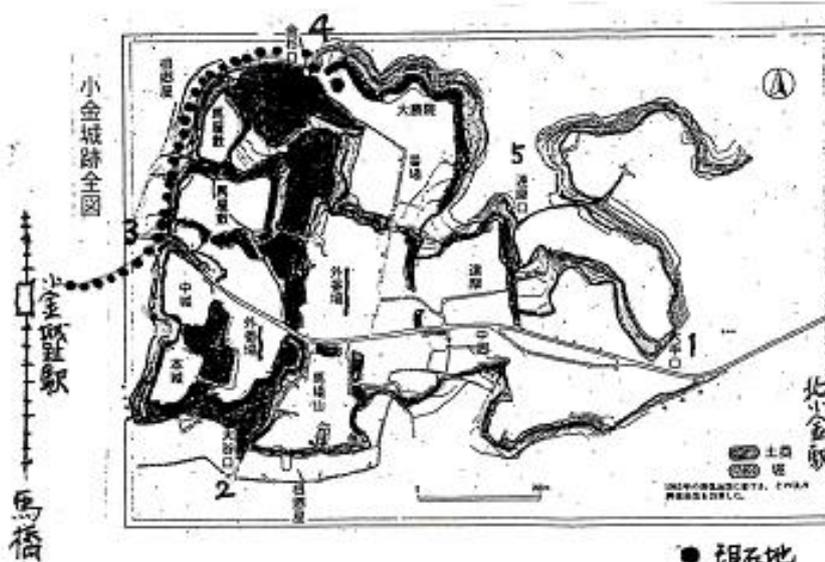
●広徳寺 高城氏の菩提寺。根木内城下から移転。参道左手に天保10年建立の高城家墓碑。家臣田島刑部少輔時定墓碑。天正16年9月9日遷宮銘弁財天祠(文化10年再建)。

●名都借城跡 鎌倉時代の屋形形式の城。本土寺過去帳に飯野氏、高知尾氏の名がある。永正18年(1521)、小弓公方足利義明の攻撃を受け高城氏家臣田島図書助・鈴木太郎右衛門・群藤彦五郎討死(本土寺過去帳)。戦国時代高城氏の支城。

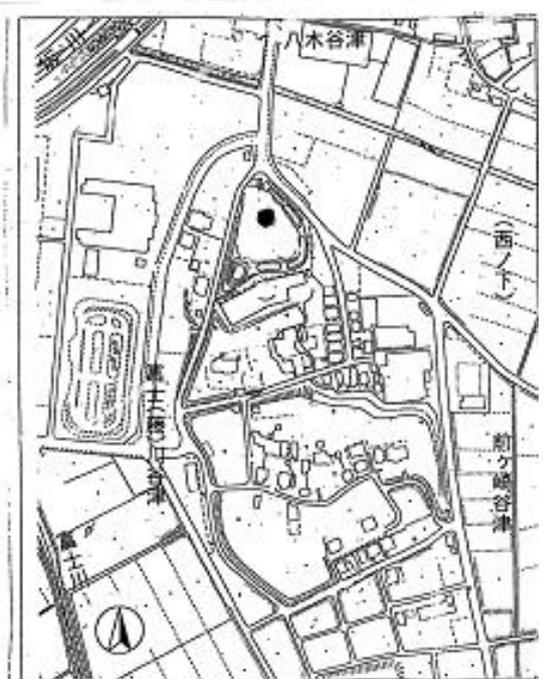
●広寿寺 永禄5年(1562)、小金城主2代高城胤辰の開基。

●清瀧院 文明10年(1478)、太田道灌の下総侵攻で松戸からの移転と伝わる。名都借村知行者徳川家旗本小川新九郎墓碑。千葉一族裔の小金牧野馬奉行綿買家の墓碑。

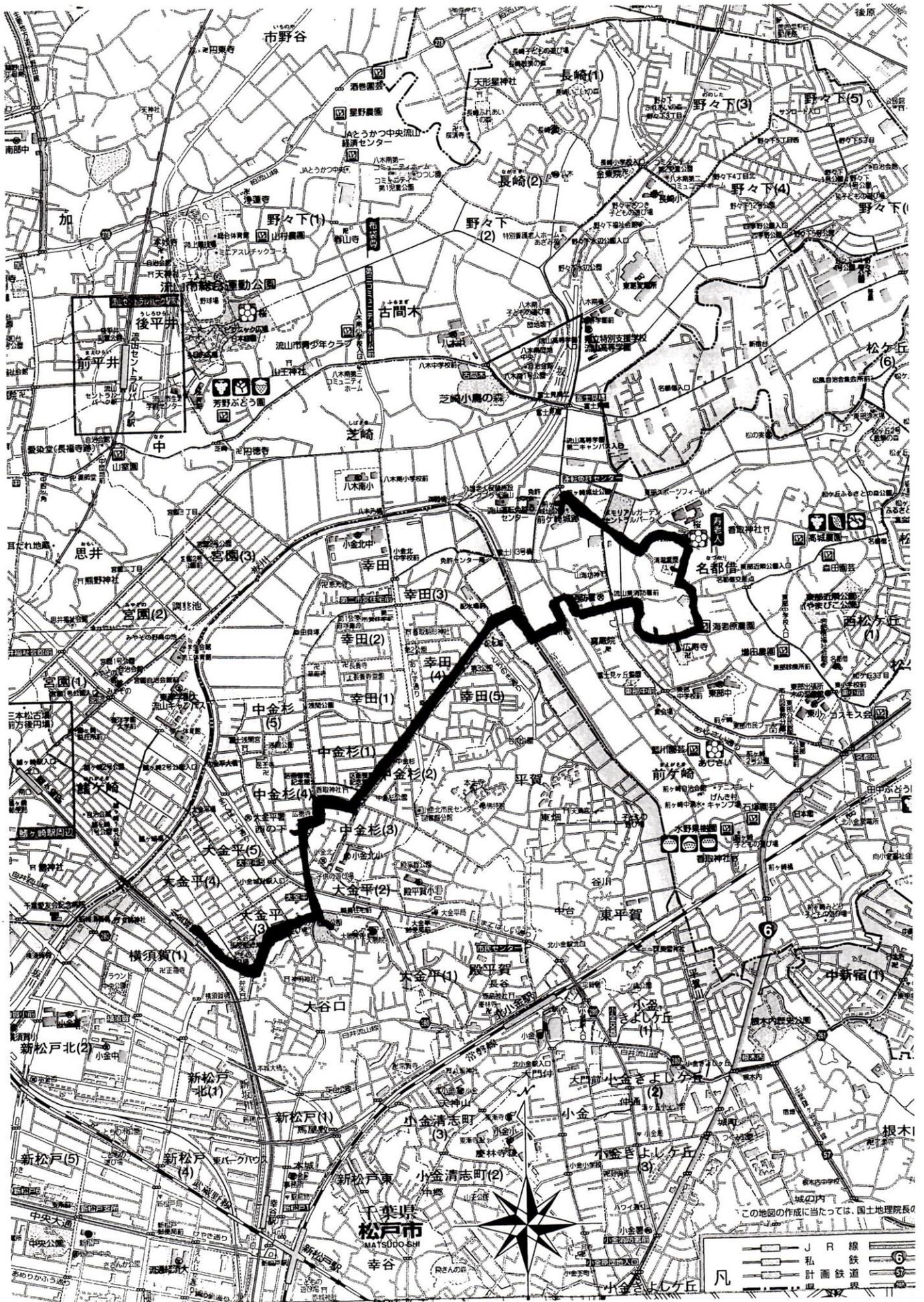
●前ヶ崎城跡 文明10年(1478)11月3日、太田道灌下総侵攻の際、千葉介千葉孝胤は、前ヶ崎城に拠る道灌の弟太田六郎と戸張彦次郎を攻撃し討取り落城(本土寺過去帳)。同12月10日酒井根原合戦。千葉介惨敗。戦国後期は高城氏の支城。土塁、空堀が残る。



● 視石地



前ヶ崎城跡概念図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の
 凡

- J R 線
- 私 鉄
- 計 画 鉄 道
- 界